



年間テーマ ～ 平和を目指してともに歩もう ～



地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス(からし種)です。イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って平和の種をまき、やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

カトリック大阪大司教区  
社会活動センター・シナピス

TEL/06-6942-1784 FAX/06-6920-2203

Email/sinapis@osaka.catholic.jp

ホームページ/<https://sinapis.osaka.catholic.jp/>

今月のテーマ

「私たちの家である  
地球を大切にする」

タイトル:「ボールをなげているところ」

作: やながわ 圭 けい (当時8歳)

第1回シナピス主催絵画コンテスト  
ピース賞受賞作品



## 聖フランシスコの平和の祈り

カトリック生野教会 申城吉神父

旧約聖書では、「平和」はシャロームです。ユダヤ人は平和を「神、周りの人々、神様が創造されたすべての被造物の間に結ぶ正しい関係」を意味します。このようなユダヤ人の平和の意味は、イザヤ書第11章「平和の王」でよく説明されています。ユダヤ人が考える平和のイメージがよく表れています。

「狼は小羊と共に宿り/豹は子山羊と共に伏す。子牛は若獅子と共に育ち/小さい子供がそれらを導く。牛も熊も共に草をはみ/その子らは共に伏し 獅子も牛もひとしく干し草を食らう。乳飲み子は毒蛇の穴に戯れ/幼子は蝮の巣に手を入れる。」(イザヤ 11,6-8)

通常、現代の私たちが考える平和の意味とは少し違うイメージです。私たちは主の平和を理解するとき、国家間に戦争がない状態、民族間に分裂がない状態など、主に政治的で社会的な意味の平和を考えます。しかし、聖書が言う平和は、私たち人間共同体、お互い、それぞれが正しい関係をどう結ぶべきかを語っています。

このようなユダヤ人の平和のイメージを、カトリック信者がよく知ることができるように説明してくれる方がアシジの聖フランシスコです。聖フランシスコは、私たち人間の共同体がお互いにどのように行動し、考えることが平和につながるのかを教えてください。特に私が平和の道具として何をすべきかを理解し、それを実践するために何を必要とするのかを神様に求める祈りを捧げます。

生野教会では、平和旬間に聖フランシスコの平和の祈りを毎日ミサ後に捧げながら、私たちが「平和を目指してともに歩こう」と考えてきました。皆さんも平和の祈りを捧げながら、私たちが平和の道具としてできることを一緒に考えることができれば良いですね。

主よ、わたしを平和の道具とさせてください。

わたしにもたらさせてください…。

憎しみのあるところに愛を、罪のあるところに赦しを、争いのあるところには一致を、誤りのあるところには真理を、疑いのあるところには信仰を、絶望のあるところには希望を、闇のあるところには光を、悲しみのあるところには喜びを。

ああ、主よ、わたしに求めさせてください。

慰められるよりも慰めることを、理解されることよりも理解することを、愛されることよりも愛することを。

人は自分を捨ててこそ、それを受け

自分を忘れてこそ、自分を見だし、

赦してこそ、赦され、

死んでこそ、永遠の命に復活するからです。

## 今月のページ

### ニュースレター 目次

- 1 巻頭言
- 2 森 達也さん講演会
- 3 子どもたちが伝えたい平和
- 4 子どもたちが伝えたい平和
- 5 障がい者委員会より
- 6 障がい者委員会より
- 7 出入国管理および難民認定法
- 8 シナピス事務局からのお知らせ
- 9 あとがき

### チラシ・ご案内

- ・ボランティア募集
- ・9月の祈り
- ・わすれないあきらめないカレンダー
- ・神戸地区シナピス移動学習会チラシ
- ・部落差別人権活動センターチラシ
- ・ピース9お年玉付き年賀はがき 2024
- ・映画「福田村」に生きる教会声明
- ・上映会「Team その子」
- ・神戸地区学習会案内チラシ
- ・在留特別許可を求める声明
- ・「ALPS 処理水」についての抗議声明
- ・じんけん SCHOLA(スコラ)
- ・いのちの献金のお願い

### 年間テーマ

～平和を目指してともに歩もう～

身近なことから世界に至るまで、互いを思いやれないことで生じる衝突が後を絶ちません。剣を取る者は皆、剣で滅びる」(マタイ 26:52)と言われたイエスの生き方に倣い、暴力に打ち勝つ強い信念をもち、交わりを通して互いを理解し尊重しあえる平和の実現を目指します。このニュースが皆さまと一っしょに考え、わかちあいの場となることを願っています。

## 森 達也さん講演会

### 「世界はもっと豊かだし 人はもっと優しい」に参加して

シナピス運営委員 宮内 陽子

7月2日、東京カテドラルで行われた日本カトリック部落差別人権委員会主催の森 達也さんの講演会に参加しました。

作家、映画監督の森さんは放送禁止歌や死刑、天皇制など、普通はメディアに取り上げられないことを取材してこられました。その出発点はオウム真理教の信徒のドキュメンタリーを作成したことです。善良で純真、穏やかな人々が殺人事件に関わったことに「なぜ!？」と衝撃を受け、狂暴、冷酷、残虐な人ではなく、ごく普通の人、自分より優しいような人が事件を起こすのはなぜなのかについて考え続け、書籍、映像作品にまとめて世に問い続けてられています。

今年関東大震災 100 年に際し、初めての劇映画に挑戦、「福田村事件」を完成、映画は大震災が発生した9月1日に公開されます。

関東大震災では建物倒壊と火災により 10 万を超える死者行方不明者を出しました。

一方、震災前から既に不況が続く社会不安が増していたことを背景に「朝鮮人が暴動を起こしている」などの流言が発生し、政府はそれを取り締まるのではなく「戒厳令」を発令して信ぴょう性を与え、恐怖にかられた民衆は自警団を組織し、警察、軍隊とともに朝鮮人、中国人を殺害しました。この出来事は多くの高校教科書にも記載されています。

しかし千葉県に行商に来ていた被差別部落の人々が、幼児や妊婦も含めて福田村の人々に殺害された福田村事件のことはほとんど知られていません。

森さんは太古、ヒトが生まれたとき、牙も爪も持たない弱い存在だったからこそ集団を作り、社会性を進化させ文明を築いてきた、しかし集団化すると人間は一つの方向に動こうとし、時に暴走することを記憶し、教訓としたいと話されました。

映画「福田村事件」についても、なぜこのような凄惨な事件を起こしてしまったのかを考えるために、被害者よりも加害者にウェイトを置いたそうです。人間は凶悪な行為を行い得る、集団化するとどんなことでもやってしまうというのは、南京やアウシュビッツなどをはじめ戦争の歴史を顧みても明らかです。森さんはこの落とし穴に陥らないよう集団に流されず、いつも一人称で考え語ることの大切さも語られました。

関東大震災時の虐殺事件は決して過去のことではありません。凶悪犯罪が起こると犯人は日本人ではないという言説がネット上に飛び交います。京都府のウトロ地区や大阪府のコリア国際学園では、ヘイトスピーチに影響された放火事件が発生しています。関東大震災で普通の人々が加害者となった出来事を知り記憶し教訓とすることは、必ず来るといわれる南海トラフ地震、首都圏直下型地震などの際、起こるかもしれないヘイトクライムを未然に抑止することにつながります。

講演の最後で「現実はこのようにひどいのに、森さんはどうして『世界はもっと豊かだし、人はもっと優しい』と思えるのですか」との質問が出ました。森さんは「世界はもっと豊かになるはず、人はもっと優しいはずという思いを込めています」と答えられました。どんなに厳しい現実の中でも希望を持っておられる森さんに勇気づけられました。

映画「福田村事件」、ぜひお誘い合わせてごらんください。

# 子どもたちが 伝えたい平和



日本における難民問題について、  
たくさんの人に広め、寄付を募って支援しよう

大阪教育大学附属池田中学校3年 コミュニティプロジェクト

難民問題学習チーム（大川・大槻・伊藤・森）

## 《内容》

私たちは在日難民問題について理解を広め、寄付金を集めるという活動を行いました。具体的には、難民支援団体 シナピスと協力し、難民の方と作成した物をフリーマーケットで販売する活動です。そこで売り上げた金額は、シナピスに寄付する予定です。また同時に、ポスターやチラシを使って、今の難民問題について多くの人に知ってもらい、理解を深めてもらうという活動を行ないました。

## 《活動動機》

活動のきっかけは、学校のコミュニティプロジェクトという社会奉仕活動の一環で、在日外国人の方の居場所を作ろうと考えたことからでした。

新型コロナウイルスなどの影響で外出が制限されていた中で、在日外国人の方が困っているのではないかと、孤独な想いをしているのではないかと考えました。そこから、在日外国人の方同士が親交を深められるような交流会を開こうと考え、準備を進めていました。

しかし、先生方に勧められて行ったビスカルド篤子さんの難民問題についてのセミナーを聞き、初めて在日難民問題について詳しく知ることができました。そこで、難民支援活動では寄付を募るなど、自分たちでできることが多いのではと考え、この活動を始めました。

## 《活動記録》

07/02：シナピスにて、7月9日に行うことについての打ち合わせをし、また難民についての質問等を聞かせていただきました。

07/09：シナピスにて、実際に難民の方々とお会いして、オリジナルトートバッグのワンポイントを描いていただきました。また、私たちのためのオリジナルバッジを作ったり、自己紹介の時間を設けたりすることで、交流を深めることができました。最初は、どのような感じなのか、どのような雰囲気なのかがあまり分からなくて緊張しましたが、時間が経つごとに自然な感じに近づいていきました。

各自で行ったこと：ポスターや値札、チラシの政策、難民の方々に作っていただいたトートバッグのワンポイントの印刷をしたり、家の中の売り物になりそうな物を探しました。

08/01：Zoomにて、チームメイトや先生と各自持ってくる物と集合時間・場所などの最終確認をしました。

08/05（当日）：自分たちの体調面を考慮しながら、お客様に聞こえやすい挨拶や商品についてわかりやすい説明を心掛けて行いました。また、ポスターやチラシなどによって、難民のことに興味を持っていただいた方も多数おられました。

暑さなどの影響で、人出は普段より少なめでしたが、目的は達成できました。

また、私たちが持ち寄った品物も売り、売り上げの増加をめざしました。



## 《まとめ》

活動を通して、様々な方に難民について知っていただくきっかけになりました。

また、私たちにとっても、理解を深める良い機会となりました。

このようなことを通して、社会の複雑さ、それと同時に、社会奉仕活動の達成感を感じることができました。

最初、難民について知った時に、私たちも何らかの形で支援したいと感じましたが、「国の関係」というのは難しいものであるため、私には解決するのはなかなか難しいと思いました。しかし、誰かが身近なことでも活動することによって解決していくものと知り、自分たちなりに、少しでも解決に近づくことができたと思います。

今回の活動は終わってしまいましたが、これから私たちにできることはまだまだあると思います。例えば、周りの人知ってもらっただけでも大きなことになるでしょう。だから、このような活動を通して、将来 難民問題が解決されることを願っています。

\*夏休み明けに、売れ残ったものを、学校にて再販する予定です。



**“難民を受け入れる社会に！”**



**難民支援のお願い！**



**注目の品ですよ～！  
みなさんも募金で難民を応援  
しませんか！**

## 僕が障がい者支援をして思うこと

カトリック枚方教会信徒

かわかみ じゅんいち  
河上 順一

僕は、縁あって、枚方教会の障がい者信徒の M さんの自立生活支援で、月に 2 回ほど介助に入っています。「縁」というのは、僕もカトリックの洗礼を受けているからです。手話ミサにも、M さんと一緒に与らせてもらっています。

僕は 20 年ほど前まで、東京の携帯電話の会社のお客様相談室で、選りすぐりのクレームの最終対応というハードな仕事をしていました。その為、体調を壊して、大阪に帰郷して、人生のやり直しという課題に直面しました。その頃に、茨木教会で洗礼を受けました。

同じ頃、高校の後輩に「障がい者支援の仕事、やってみたら」とヒントを受け、まず、グループホームでのバイトから始めましたが、その時の僕の衝撃は大きかったです。

競争社会、自分を守るのは自分だけ、世の中のシステムのすごい勢いの渦に流されるまま、体調を壊してしまい大阪で無職になり、抗うつ薬を飲みながら、社会からどんどん遠ざかって、いつ社会復帰できるのかも分からない僕には、お金の意味も知らずに、また、他の人の介助を受けながらも、毎日楽しそうに精一杯生きている人達の方が、どれだけ人生や世界の意味を知ってるのだろうと僕の心を優しくひっくり返してくれました。

そこで介助の仕事をしたことは大きかったです。その後、抗うつ薬を飲まなくても暮らしていけるようになり、再出発が始まりました。そのグループホームの人達には、感謝の気持ちでいっぱいです。

自立生活運動をしている障がい者の方の支援に入るようになり、「自立」ということを深く考えるようになりました。それは、会社や仕事や家族にすがりつかずに自分で考えること、そして生きていくこと。そのためには、できる限り自分に嘘をつかないことだと実感しました。

「健常者」と「障がい者」との共生は、障がい者の自立生活運動から始まりました。「多様性を認める」、また、「それを楽しむこと」こそ、共生と思います。

LGBT の方たちの権利運動も多様な人達の共生を主張されていて、障がい者と健常者との境い目は無いという考えと共通しているところもあると思います。

ただ、境界を作ってるのは、それを決めている権力や社会の多数の人達。

自分自身のアイデンティティに死ぬほど悩まなくてもすむ、また、「自分のアイデンティティと違うから傷つけてもいい」という社会から、もっと息がしやすい世界を実現することになるのではと思います。

また、人類はそんな世界にしなければ、生き延びていけないようなところにまで来ているのではないかと思います。

イエスが言われた「汝、隣人を愛せよ」という言葉は、僕にとっては、「自立」と「共生」という事として、強く訴えてきます。そして、世界の最も残酷な行為である戦争と監獄と暴力を無くしていく真実の道だと思います。まだまだ、障がい者との僕の旅は続くと思っています。

## 障がい者委員会より

### 障害があっても、なくても



大阪大司教区 障がい者委員会 よしかわやすお 吉川康夫

現役を退いて相談の数は減ったものの、最近また増えてきたのが当事者やご家族からの相談よりも職場の上司・同僚からの相談です。

職場に発達症（障害）・精神症（障害）を疑う人がいて困っている。仕事を頼んでも忘れる。期日に間に合わない。職員同士のトラブルが多い。特にお客さんを怒らせてしまって、一人で仕事を任せられない。

障害があれば、我慢するのでしょうか。あきらめるというのでしょうか。

それは、同情であって、偏見と差別を生み出してしまうのではないのでしょうか。

障害があっても、なくても、仕事がテキパキできても、できなくても、理解者と協力者、そして支援者がいれば良き働き手となるでしょう。

一般の人の仕事量を100としたら、60の仕事量しかできないかもしれません。たとえ60の仕事量であっても、60分助かるのです。さらに特性がぴったり合えば120の仕事量を、そして200の仕事量をこなす人もいるのです。

角度を変えて、多くのボランティア会を見てください。利用者にはやさしいけれど、ボランティア同士がやさしくないところが多くはないでしょうか。

仕事が多すぎて、ストレスが溜まるのはわかります。競争主義社会、資本主義社会の中では仕方がないことかもしれません。しかし、私は“社会ダーウィニズム（社会進化論）”を否定し、同じ共同体として互いに助け合っていきたいのです。

そうすれば、新しいメンバーも増えるかもしれませんネ。

こんな言葉かけをよく聞きます。「どこ見ているの」、「ちゃんと聞いていなさい」、「忘れないで」、「わかるように話しなさい」、「なんでできないの」。

そして、根拠のない励ましと「がんばればできる」という無責任なことば。

一番困っているのは、他ならない本人です。並んでいる文字を順に追えない人がいます。仕事の段取りを組み立てるのが苦手なのです。見たもの、聞いたものを覚えることが苦手な人もいます。目と手の協応動作がうまくできていない、いわゆる不器用な人も意外と多いのです。そして、イメージしたり出来事を記憶することが苦手で、すぐに忘れてしまいます。（すみません。これ私のことです）

聞くより、見る方が得意な人かもしれません。そんな人には、文字や絵で説明すると良いです。見るより、聞く方が得意な人かもしれない。そんな人には、あらかじめレコーダーに録音しておくといいとされています。

何よりも、一人ひとり異なる固有の良い方法を見つけることです。一方通行にならない、分かち合い（双方向のコミュニケーション）が一番大切なことだと思う今日この頃です。



## どう変わる？

# 入管法(出入国管理および難民認定法)

シナピス運営委員 にしぐち のぶゆき 西口 信幸

「出入国管理および難民認定法」(入管法)の改正案が6月9日、成立しました。この法案をめぐっては、野党や市民団体はじめ国際社会からも人権上の問題点が指摘される中で、の強行採決でした。

### 改正入管法の主な内容

- ① 難民認定の申請中は、これまで送還が認められていませんでしたが、3回目以降の申請者については「相当な理由」を示さなければ本国への送還が可能になります。
- ② 難民条約の「難民」には該当しないが、紛争などから逃れて来た人を「補完的保護」の対象者として受け入れます。
- ③ 送還を妨害した人などに対する罰則も設けられます。
- ④ 仮放免制度に替わり、「監理人」と呼ばれる入管庁が認める団体や弁護士の監督のもとで生活する「監理措置」が新設され、「監理人」に責任が課せられることとなります。

難民認定率が極端に低い日本で、難民申請中の人を送還すれば、多くの人が迫害を受ける恐れがあり、国連機関や専門家は「難民条約違反」だと指摘しています。

また、避難民を「補完的保護」とすることは、国際的な潮流を踏まえない、誤った見方であるとされています。「監理措置」についても監理人への理解もないまま、実現性が疑問視されています。

### 国会での審議を通じて浮上した入管における問題

- ① 「難民をほとんど見つけることができない」という一人の参与員の発言が、「3回目以降の申請者は送還」の根拠とされていますが、公平な審理とは言えない数の審査している実態が明らかになりました。
- ② 入管庁は、法案の成立に向けて医療体制を整備し、常勤医師の配置を説明しましたが、大阪入管で医師が飲酒して診療し、常勤の医師が不在という事実は公表されませんでした。

来年の施行までに、どこまで見直しがされるか不明ですが、難民の保護において望まれることは、国際水準に基づく難民の保護と、収容のあり方の見直しです。



新年を祝い、踊るアフガンの女性たち

国境(国益)を管理する入管庁が、難民認定(人権)に関わるという仕組みに問題があります。最終的な保護の判断は、独立性を持つ機関に委ねること、また入管施設での拘束は限定的に、期間を限定し、その判断も裁判所のような独立した機関で行われるべきです。

国際的な人権。国際的な人権基準を守り、難民保護を目的とした独立機関を設けることで、人権を優先し、多様性のある共生社会の実現は可能です。



## 社会活動センター・シナピス事務局からの大切なお知らせ

諸事情により、現在専従事務局員が不足しているため、当面、いくつかの活動を縮小または休止させていただきます。

- ☆ シナピスニュースは内容を見直し簡素化します。
- ☆ 「オンライン祈りの集い」は、再開の目途がつくまでお休みいたします。
- ☆ シナピス工房のグッズは、新たなカタログの配布をお休みしますので、在庫品等については直接事務局へお問い合わせご連絡ください。

なお、各地区で行われる社会活動委員会の定例会議は、今後も引き続き事務局スタッフまたはシナピス運営委員が出席いたします。

シナピスの活動を支えてくださるボランティアさんを引き続き募集しています。今月号のニュースにボランティア登録応募用紙を同封いたしますので、お力を貸してくださる方はどうぞよろしくお願いいたします。

### <お問い合わせ先>

メールアドレス: [sinapis-b@osaka.catholic.jp](mailto:sinapis-b@osaka.catholic.jp)

電話番号 : 06-6942-1784

## 活動へのご支援ご協力を

よろしくお願いたします。

郵便振替 00960-7-61419

加入者名 カトリック大阪大司教区シナピス



## 難民移住者への支援物資提供

も宜しくお願いたします。

米、ハラル食品、レトルト食品、油  
テレホンカード、レトルトご飯、缶詰



お電話をお待ちしています！

☎06-6942-1784



## シナピス公式

さまざまなお知らせや情報を発信！  
友達追加は QR コードから



CATHOLIC.OSAKA.SINAPIS.



HPはこちらから

<https://sinapis.osaka.catholic.>

ニュースレター配布停止ご希望の方は  
シナピスまでお知らせください。

## あとがき

人手不足にもかかわらず、今月も『シナピスニュース』を発行できたことを幸いに思います。今回も多様な場で活躍する人たちが、イベントの報告やいま課題に思うことなどを書いてくださいました。ひとつひとつが貴重で、心に留めるべき文章だと思えます。

先日、来年の世界平和の日の教皇メッセージのテーマが、「人工知能（AI）と平和」であることが発表されました。近頃、ChatGPTのような対話型 AI が話題になっています。AI に向かって質問すると、どんなに難しい内容でも瞬時に回答を返してくれるのです。「気候変動の仕組みは？」などの知識学習はもとより、「口げんかの後の仲直りの方法は？」といった人間関係に関する内容でも。とても便利ですが、その文章はどこか冷たく感じられます。当然ながら、自らの体験から寄せられた言葉ではなく、何の感情も含んでいないからでしょう。『シナピスニュース』に掲載される文章は、執筆者自らの体験から紡ぎ出された言葉です。悲喜こもごもの感情が込められており、読む人の共感を引き起こします。共感とは、新たな気づきとともに、新たな行動を促すこともあります。行動は人と人との協働を促し、さらに共感の輪を広げていくことなのでしょう。

## ▽▲▽ シナピスの主な活動 ▽▲▽

### ◆広報活動

- ・教皇メッセージ、司教団メッセージ等社会活動の指針の伝達
- ・読者と教会内外の社会活動をつなぐ機関誌としてシナピスニュースを発行

### ◆大阪教区・社会活動委員会との連携

### ◆学習会研修会の企画

### ◆こども基金

世界・日本のこどもたちへの援助

### ◆カトリック中央協議会との連携

正義と平和協議会、難民移住移動者委員会、カリタス、部落差別人権委員会に委員を派遣

### ◆人権教育の講師を務めるなど教育機関への働きかけ

### ◆難民移住移動者支援

難民移住移動者の暮らしやすい社会を目指して

難民移住移動者 相談ダイヤル

☎ 06-6941-4999

## アクセス

〒540-0004 大阪市中央区玉造 2-24-22

カトリック大阪大司教区事務局内



### ●公共交通機関ご利用の場合

JR 森ノ宮駅より 約 1000m

地下鉄中央線森ノ宮 2 番出口より 約 800m

JR 玉造駅より 約 1000m

地下鉄長堀鶴見緑地線玉造 1 番出口より約 800m

### ●車でお越しの場合

阪神高速 13 号東大阪線法円坂出口

法円坂交差点南へ上町を東へ

## 活動へのご支援ご協力をおねがいたします

☐郵便振替 00960-7-61419

加入者名 カトリック大阪大司教区シナピス

☐三井住友銀行 玉造支店 普通 9401958

カトリック大阪大司教区 シナピス

代表役員 前田万葉

☐オンラインはこちら →→→





# 忘れない あきらめないカレンダー

どんな状況下でも、忘れず、あきらめず、希望をもって歩む皆さまに、情報を配信します。



## 2023年9月の案内

★印 カトリック関係

### 2023年 祈禱の信徒 祈りの意向 9月

教皇の意向: 周辺に追いやられて生活する人々

社会の周辺に追いやられて非人道的な環境の中で生活する人々が、社会の仕組みから見落とされたり、必要のない者として扱われたりすることがありませんように。

日本の教会の意向: すべての被造物

地球温暖化を止めるために働く人々をカブけてくださいますように。

1	金	●関電前「一食断食」行動 ■場所: 関電本店前 10:00開始～16:00 雨天決行 途中参加も離脱もOK 主催: 老朽原発うごかすな! 実行委員会 連絡先TEL090-1965-7102(木原)
2	土	●講演会 伊藤野枝を偲んで ■場所: 神戸学生・青年センター 14:00 講演: 堀和恵さん(『評伝・伊藤野枝～あらしのように生きて～』筆者) 参加費: 800円 主催: 大逆事件を明らかにする兵庫の会 連絡先TEL078-861-6566
3	日	●映画「ワタシタチハニンゲンダ!」上映会 ■場所: クレオ大阪西研修室 14:20上映開始 16:20 ミニ講演 講師: 上林恵理子さん(弁護士) 参加費1000円 主催: コミュニティ・ユニオン関西ネットワーク 連絡先TEL06-6846-8302
4	月	●映像で現代を語る会 ■場所: 18:00～20:30、大阪市立北区民センター 上映: 「はだしのゲンはなぜ消えた?」「五輪談合・巨額公費投入の間▲急増する外国人ホームレスの背景には」「幸せに支配されるSNSの若者たち」を上映 会場費: 300円 主催: 映像で現代を語る会 問合せTEL090-5151-9763(中森)
5	火	国際チャリティー・デー
6	水	●原発賠償関西訴訟 第41回期日 ■場所: 大阪地方裁判所202号法廷 9:00本館または別館前集合 10:00～第3回本人尋問 問合せ: KANSAIサポーターズ(原発賠償関西訴訟の応援団) TEL070-5658-9566 ●映画上映 ここから「関西生コン事件」と私たち ■場所: リベル3F会議室 18:00開場 18:30～ トーク: 松尾聖子さん(主演) 入場料: 1200円 主催: 労働組合つづしを許さない兵庫の会 問合せ: 阪神地区労働組合人権センター TEL06-4950-0071 ●戦争あかん!ロックアクション御堂筋デモ ■場所: 新町北公園 18:30～ 19:10デモ出発 主催: 戦争あかん!ロックアクション 連絡先TEL090-5063-0073 ブログ「戦争あかん!ロックアクション」 FB「戦争法・秘密法廃止! 集合・デモ情報」
7	木	青空のためのきれいな空気の国際デー
8	金	国際識字デー [UNESCO]
9	土	教育を攻撃から守るための国際デー ●今こそ戦争責任を問う!一戦争は個人を翻弄する一 ■場所: 国労大阪会館3F大会議室 13:30開場 14:00開演 講演: 「泰緬鉄道～捕虜虐待と戦争裁判」 講師: 内海愛子さん(早稲田大学平和学研究所招聘研究員) お話: 「朝鮮人元BC級戦犯者の伯父への思い」 姜秀一(カン・スイル)さん 資料代: 1000円(学生500円) 主催: 南京の記憶をつなぐ2023 TEL090-8125-1757 ●核も戦争もない平和な21世紀に!平和フォーラム・関西ブロック集会 ■場所: PLP会館5F大会議室 14:00開始～15:45 講演: 「抑止」だけでなく「安心供与」の政策と外交を」 講師: 猿田佐世さん(ND新外交イニシアティブ代表/立教大学講師) 原水禁世界大会参加者と猿田さんの質疑 第26代高校生平和大使国連ヨーロッパ本部訪問報告 参加費: 無料 連絡先: 大阪平和人権センター ●映画上映 僕とオトウト ■場所: 東園田町総合会館 13:00 14:00～監督トーク 15:00～交流会 参加協力金: 1000円、高校生以下無料、家族・ヘルパー: 500円 主催: NPO法人サニーサイドTEL06-6493-0355(松村)
10	日	●青丘文庫研究会 まだ視ぬアーカイブを可視化する!—関東大震災朝鮮人中国人虐殺百年に抗して— ■場所: 在日韓国基督教会館(KCC会館5階ホール)13:00～ 第1部: 上映「80年前何があったのか?関東大震災の時、殺された中国人を悼む」他 第2部: 関東大震災の流言飛語と大阪の朝鮮人—そして最近の虐殺事件矮小化の動向に対する記憶の継承の重要性 トーク: 塚崎昌之さん(在日朝鮮人史研究者) 第3部: 東京都人権部による《In-Mates》検閲・上映禁止が意味するもの/上映 他 資料代: 1500円 学生割引1000円 主催: 青丘文庫研究会/神阪京華僑口述記録研究会/神戸映画資料館 問合せTEL078-754-8039(神戸映画資料館) 090-3622-3730(キム) mail info@kobe-eiga.net(神戸映画資料館) hida@ksyc.jp(青丘文庫研究会) ●映画上映「差別」■場所: 垂水区文化センター多目的ホール 第1回: 9:30開場 10:00～12:00 第2回: 13:30開場 14:00～16:00 参加費: 大人1000円・18歳以下500円 主催: 神戸朝高生とともに歩む会
11	月	
12	火	国連南南協カデー
13	水	



14	木	
15	金	国際民主主義デー
16	土	オゾン層保護のための国際デー 心血管インターベンションのための国際デー
17	日	患者の安全のための世界デー [WHO] ★鑑賞と分かち合い「ワタシタチハニンゲンダ！」■場所：カトリック住吉教会 13:30～ 申し込み不要、参加費無料 お問い合わせ：神戸地区社会活動委員会 TEL078-221-4733 ●とめよう改憲！おおさかネットワーク：第16回年次総会 & 公開講演会 ■場所：PLP会館・5F大集会室 13:30開場 14:00開会 15分間、年次総会 講師：広渡清吾さん(法学者)「岸田政権—自覚なき戦後最悪の反動政治を問う！」 資料代800円 ※学生半額・介助者無料 主催：とめよう改憲！おおさかネットワーク 連絡先TEL06-6364-0123(中北法律事務所) ●第28回統一マダン生野 ■場所：生野区・いくのパーク 12:00～ 参加無料 主催：第28回統一マダン生野実行委員会 連絡先TEL06-6711-6377 fax06-6711-6378 mail ikuno@madang.jp <a href="https://twitter.com/ikuno_madang">https://twitter.com/ikuno_madang</a> FB <a href="https://www.facebook.com/ikunomadang">https://www.facebook.com/ikunomadang</a>
18	月	●原発・核燃からの撤退を！ 2023関西集會 開場13:20 開演13:40 ドーンセンター ★狭山事件 冤罪を生む日本の社会構造 14:00～17:00 参加費：無料 ■場所：カトリック大阪梅田教会・サクラファミリア 大阪市北区豊崎3-12-8 主催：カトリック大阪教会管区部落差別人権活動センター 連絡先TEL075-366-6609 e-mail/bukatu@kyoto.catholic.jp
19	火	
20	水	
21	木	国際平和デー
22	金	
23	土	手話言語の国際デー ●映画上映 金福重(キム ボクトン) ■場所：宝塚西公民館3Fセミナー室 13:00開場 13:30開演 入場料 一般：800円 学生・障がい者：500円 主催：日本軍「慰安婦」被害女性と共に歩む大阪・神戸・阪神連絡会 上映会開催希望者連絡先i_zenkokukoudou@yahoo.co.jp
24	日	
25	月	
26	火	核兵器の全面的廃絶のための国際デー
27	金	世界観光デー
28	土	情報へのユニバーサル・アクセスのための国際デー 世界海事デー [IMO]
29	日	食料のロスと廃棄に関する啓発の国際デー
30	月	国際翻訳デー
		